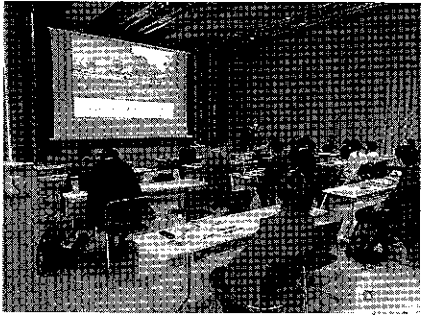


木造初心者による試設計を中間報告

具体的地域、施設を想定

高知県立林業大学校



新木場の木材会館で今回は開催した。千葉県の柏市。

高知県立林業大学校(限研吾校長)は、「木造初心者の中規模木造2020」のプログラムを年4回の連続講座で開催中。11日に各グループによる試設計の中間発表を実施した。各班は最新の法令を駆使し、建築場所を仮定したうえで提案を発表。講師からのコメントを受け、来年2月の最終発表に向けての作業を行っている。

高知県立林業大学校は、中大規模木造の設計を取り組みたい設計者、施工者、行政などを対象に座学によるグループワークで実践的。Aチームは東京都の千代田区を想定し、4階建て3000平方メートルの耐火建築の試設計を目標として、同プログラムを東京都内で開催している。

多目的ギャラリー+飲食店の耐火3階建て。延べ床面積2600平方メートル。1階は店舗、2階は居住、3階は居住、4階は居住。耐火構造とし、耐火壁(ストローク)を参考に設計した。耐火壁(ストローク)を参考に設計した。耐火壁(ストローク)を参考に設計した。

「天井不燃化、スプリンクラーの設置が必須で、ある程度の規模がないと難しい」と(安井昇設計集団代表)とコメント。Cチームは東京都武蔵野市の住宅地に建つ。Eチームは横浜市。Fチームは千葉県。

「地域材利用を考えると材料調達にも配慮する必要がある。製材なのか、集成材、CLTにするのか、産地をどこまで限定するかで調達にかかわる時間も変わる」と(同)を指摘した。

「コロナ禍での開催方法を検討し、8月には本気で60度以上の角度で壁、60度以下だと木を大切にしようと思える。桑野教頭はアンケートの紹介で、黄柳川小学校の木の校舎が好きです」という質問に98%が「はい」と回答し、自慢できるかという質問に96%が「はい」と回答した。また、木の校舎の良さをどう伝えるかという質問には、「落ち着

清水建設(東京都、井上和幸社長)は、全国各地で「木育活動」を推進してきたが、今年度はコロナ禍でオンライン方式による新たな木育活動を始めた。同社東京木工所(同江東区)では、全国各地で木育活動を通じて、木に対する親しみや木の文化への理解を進める活動をしている。

「地域材利用を考えると材料調達にも配慮する必要がある。製材なのか、集成材、CLTにするのか、産地をどこまで限定するかで調達にかかわる時間も変わる」と(同)を指摘した。

「適切な医療空間を提供することは、患者のポジティブな気持ちに繋がると推測されている。また、今は患者が施設を選ぶ時代となっている」と述べ、新柏クリニクに対する患者の評価が、移転前は看護師など働いている人への評価が多かったが、移転後は建物や設備に関する評価も増え、これが現在も継続していることを紹介。木造病院の良さを実感していると感じる。

「双葉郡の森林、林業を再生する」と決意を語った。寄贈したテーブルとベンチは、同組合が震災後しばらく仮事務所を設けていた田村市の田村森林組合の工場で作られた。福島県産の田村杉を用い、120角X1800の角材をテーブルは7本、ベンチは4本ずつ通しジョイントで連結して作られている。風が飛ばないよう120角の重量を持たせ、腐朽を防ぐため塗装後に床下で防霉処理を行い、表面は紫外線劣化を防ぐオイルステイン塗装で仕上げると、長期の屋外使用に耐える工夫が施されている。

「双葉郡の森林、林業を再生する」と決意を語った。寄贈したテーブルとベンチは、同組合が震災後しばらく仮事務所を設けていた田村市の田村森林組合の工場で作られた。福島県産の田村杉を用い、120角X1800の角材をテーブルは7本、ベンチは4本ずつ通しジョイントで連結して作られている。風が飛ばないよう120角の重量を持たせ、腐朽を防ぐため塗装後に床下で防霉処理を行い、表面は紫外線劣化を防ぐオイルステイン塗装で仕上げると、長期の屋外使用に耐える工夫が施されている。

「双葉郡の森林、林業を再生する」と決意を語った。寄贈したテーブルとベンチは、同組合が震災後しばらく仮事務所を設けていた田村市の田村森林組合の工場で作られた。福島県産の田村杉を用い、120角X1800の角材をテーブルは7本、ベンチは4本ずつ通しジョイントで連結して作られている。風が飛ばないよう120角の重量を持たせ、腐朽を防ぐため塗装後に床下で防霉処理を行い、表面は紫外線劣化を防ぐオイルステイン塗装で仕上げると、長期の屋外使用に耐える工夫が施されている。

「双葉郡の森林、林業を再生する」と決意を語った。寄贈したテーブルとベンチは、同組合が震災後しばらく仮事務所を設けていた田村市の田村森林組合の工場で作られた。福島県産の田村杉を用い、120角X1800の角材をテーブルは7本、ベンチは4本ずつ通しジョイントで連結して作られている。風が飛ばないよう120角の重量を持たせ、腐朽を防ぐため塗装後に床下で防霉処理を行い、表面は紫外線劣化を防ぐオイルステイン塗装で仕上げると、長期の屋外使用に耐える工夫が施されている。

「双葉郡の森林、林業を再生する」と決意を語った。寄贈したテーブルとベンチは、同組合が震災後しばらく仮事務所を設けていた田村市の田村森林組合の工場で作られた。福島県産の田村杉を用い、120角X1800の角材をテーブルは7本、ベンチは4本ずつ通しジョイントで連結して作られている。風が飛ばないよう120角の重量を持たせ、腐朽を防ぐため塗装後に床下で防霉処理を行い、表面は紫外線劣化を防ぐオイルステイン塗装で仕上げると、長期の屋外使用に耐える工夫が施されている。

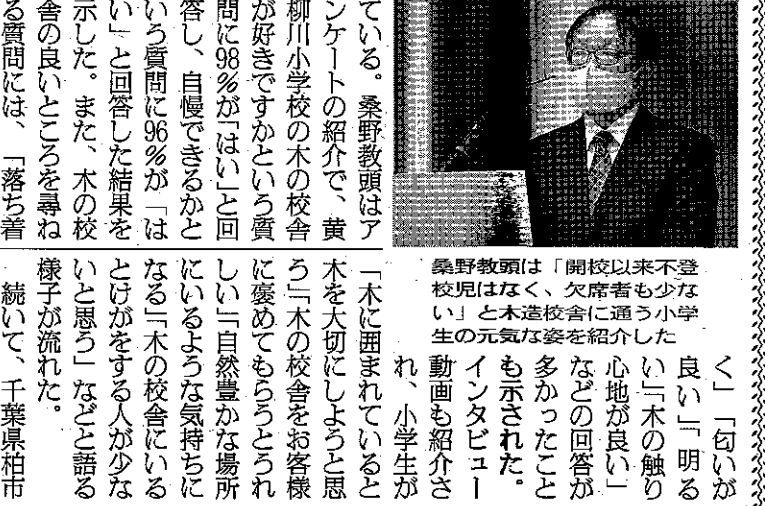
校舎、病院での木材利用の効果聞く

初のウェブ中継、各地から参加

木材利用推進全国会議

木材利用推進中央協議会(鈴木和雄会長)は、10月30日に東京都内で木の街づくりの推進に向けた全国会議を開催。完成から数年経過した木造校舎と木造病院の責任者が講演し、校舎や病院を木造木質化することの効果について、生徒や職員の声を交えながら実体験を語った。当日は会場に約60人が参加したほか、初の試みとしてウェブ中継も行われ、約60人が各地から参加した。鈴木会長は冒頭「木質化した建物がいかに、講演の内容を増えていることをうれ

「子どもは傾斜から五感で木の良さを感じられる施設がさらに増えてほしい」と思っている。桑野教頭はアンケートの紹介で、黄柳川小学校の木の校舎が好きです」という質問に98%が「はい」と回答し、自慢できるかという質問に96%が「はい」と回答した。また、木の校舎の良さをどう伝えるかという質問には、「落ち着



「適切な医療空間を提供することは、患者のポジティブな気持ちに繋がると推測されている。また、今は患者が施設を選ぶ時代となっている」と述べ、新柏クリニクに対する患者の評価が、移転前は看護師など働いている人への評価が多かったが、移転後は建物や設備に関する評価も増え、これが現在も継続していることを紹介。木造病院の良さを実感していると感じる。

「適切な医療空間を提供することは、患者のポジティブな気持ちに繋がると推測されている。また、今は患者が施設を選ぶ時代となっている」と述べ、新柏クリニクに対する患者の評価が、移転前は看護師など働いている人への評価が多かったが、移転後は建物や設備に関する評価も増え、これが現在も継続していることを紹介。木造病院の良さを実感していると感じる。

「適切な医療空間を提供することは、患者のポジティブな気持ちに繋がると推測されている。また、今は患者が施設を選ぶ時代となっている」と述べ、新柏クリニクに対する患者の評価が、移転前は看護師など働いている人への評価が多かったが、移転後は建物や設備に関する評価も増え、これが現在も継続していることを紹介。木造病院の良さを実感していると感じる。

「適切な医療空間を提供することは、患者のポジティブな気持ちに繋がると推測されている。また、今は患者が施設を選ぶ時代となっている」と述べ、新柏クリニクに対する患者の評価が、移転前は看護師など働いている人への評価が多かったが、移転後は建物や設備に関する評価も増え、これが現在も継続していることを紹介。木造病院の良さを実感していると感じる。